

研修主題

『自分の考えをもち、表現できる児童の育成』—主体的な交流活動を取り入れた国語科指導を通して—

自主研修

内容：今の小学生に求められる学力とは？～全国学力学習状況確認テストを通して～

夏休みの最終日に、2学期に向けて校内研修全体会を行いました。主な内容は、2学期の予定と全国学力学習状況調査の結果と問題を解き、内容を職員で話し合い活動を通して共有しました。

グループ協議での話し合う内容

- ①問題の内容（全体協議で説明できるように）
- ②問題を解くために必要な力（求められる学力とは？）
- ③求められる学力を育てるために必要な手立て



解答時間の15分は大人には丁度よかったですでしたが、実際は15分かかれられません。子どもにとってはとても短いでしょう。

**活動のめあて** 全国学テを解くことで、求められている学力を考える

6班に分かれて、国語Bの問題①、②、③を分担して解き、

グループ協議では、上記の内容について話し合いました。全体協議では次のような意見がありました。

問題①

- ①話し合い活動の一部を読み、司会の役割を理解し、自分の考えをまとめて文章にする。
- ②長文を読む・正しい語彙力・問題を解くテクニック・考えをまとめる・文をまとめる  
・あきらめないで解く
- ③授業での話し合い活動の実施（司会を経験することで役割を理解する）・読書・辞書の活用  
・活字を読んで慣れる・初見の文章に慣れる

問題②

- ①給食の献立を紹介する文章をもとに、2つのメモから自分の伝えたいことを文章にする。
- ②資料を読み取る力・大切なところを見つけ出す・情報を選ぶ判断力・要約する力
- ③説明文の構成を把握し、一部を書く練習・本や新聞を読みまとめる・2つの資料を比較する

問題③

- ①伝記とそれを読んだ人のノートの一部を見て、条件に合う文章を書く。
- ②まとめたことをテーマに合わせた要約・読解力（読んでいる内容を覚えて活用する）
- ③キーワードにサイドラインをひく・文章に興味を持てる導入の工夫・問題形式に慣れる

活動のまとめ

求められる学力とは、読み取る力・大切なところを見つけ活用する（ワーキングメモリ）・要約する力・語彙力と焦点化することができた。今後の校内研修では、これらの学力をつけるための具体的な手立てについて検討して実践していきたい。